

「当たり前を確実に、そして新しい成長へ」をテーマに2013年度「CS・品質月間」をスタート

当社(社長:一色 誠一)は、従来、毎年11月を品質月間とし、品質向上活動に取り組んでおりましたが、今年度より品質向上に加えてお客様満足(CS)のさらなる向上も目指す期間として、「CS・品質月間」と改称し、活動します。

11月の期間中、グループ関係会社および協力会社とともに各職場で、「当たり前を確実に、そして新しい成長へ」をテーマに下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

1. 社長メッセージの発信

本日、社長よりグループ会社および協力会社の従業員に向けて、以下のメッセージを発信し、「CS・品質月間」への真摯な取り組みを呼びかけました。

<社長メッセージ(要旨)>

今年度より「品質月間」の名称を「CS・品質月間」に変更し、2011年度からお客様満足(CS)の考え方を全社で共有し行動に結びつけるために取り組んでいる「TASUKIスピリッツ」活動と品質月間を融合して新たな取り組みとしてスタートします。

CSを実現・向上させるためには、まずは社内においてTASUKI(襷)がしっかり手渡され、次の走者につながらなくてはなりません。

また、品質、安全やコンプライアンスに関する問題を解決するためにも、私たち一人ひとりが原点に立ち返り「現場・現物・現状」をしっかり意識して仕事の「TASUKI」を繋いでゆくことが必要です。今後の新たな成長の実現に向けて、皆さんの積極的な取り組みを期待します。

2. スローガンの選定

当社グループおよび協力会社の従業員からスローガンを募集し、本年度も11,600を超える多数の応募の中から以下の作品を選定しました。

「つなごうTASUKI むすぼうSHINRAI X(みらい)を拓く ENEOS品質」

(鹿島製油所総務グループ 宮崎 仁志)

3. 当社各事業所、グループ会社および協力会社ごとの独自活動など

- ・品質トラブル発生時の初動対処訓練、ローリー荷卸しパトロール
- ・協力会社社員向け品質研修会、改善発表会、品質保証に関する懇談会等研修会
- ・関係他社訪問・情報交換会、外部団体講演会の聴講
- ・本社ビルでの外部講師による講演会の開催、川柳募集やCS・品質に関する情報の発信など。

以上